

有田川町沼地区LPP 棚田ふぁむ

山あい広がる有田川町沼地区の棚田では、地域の方々と学生が協力しながら、棚田と集落を未来へつなぐ活動を行っています。

有田川町内でも有数の規模を誇る沼地区の棚田は、長年にわたり地域の暮らしを支えてきました。一方で、高齢化や人口減少により、その維持は年々難しくなっています。

私たちは棚田の一部をお借りし、田植えから稲刈り、精米までの稲作作業に継続して関わってきました。あわせて、地域行事への参加など、棚田を支える日常の営みにも取り組んでいます。

こうした活動を通して、棚田の景観を守るだけでなく、地域の方々との交流を重ねながら、沼地区に根付く暮らしや文化を次の世代へとつなぐことを目指しています。



2025年度の活動

5月

田植え・交流会

地域に伝わる農作業着を着用し、田植えを行いました。昔の農作業や暮らしについて学ぶ機会となりました。



7月

山椒収穫支援

収穫は根気のいる作業を体験しました。作業を通して、地域の方々と交流する機会となりました。



9月

稲刈り支援

5月に植えた稲の収穫作業を行いました。田植えから収穫までの流れを通して、米づくりの大変さを実感しました。



10月

秋祭り支援

一泊二日で秋祭りの準備や餅投げを行いました。祭り当日には、OBの方々と神輿を担がせていただきました。



11月

桜の植樹

今年度新たにOBの方々とともに、桜の植樹を行いました。地域の将来につながる新たな取り組みとなりました。



12月

交流会・お米の配布

活動を振り返り今後の沼地区について意見交換を行いました。後日大学内で棚田で収穫したお米の配布を行いました。



1月

天神祭支援

餅投げなどの天神祭の準備と開催の支援を行いました。その後は交流会を行いました。

●今年度の総括

今年度は、現地での活動に加え、活動内容や地域の魅力をどのように伝えていくかを意識した一年となりました。新たな取り組みとして、収穫したお米を配布し、アンケートを通じて感想や意見を収集する活動を実施しました。実際に食べてもらうことで棚田のお米への理解を深めるとともに、今後の活動を考える上での貴重な意見を得ることができました。また、郷土料理のレシピをInstagramで発信する取り組みも行い、地域の食文化や日々の暮らしの魅力を、これまでとは異なる形で発信できたことも、今年度の成果の一つであると考えています。

●来年度に向けて

来年度も、地域の方々の声に耳を傾けながら、棚田や集落の状況に寄り添った活動を継続していきたいと考えています。また、これまでの活動で得られたつながりや学びを大切にしながら、地域の魅力を伝える取り組みにも引き続き取り組んでいきます。